

博士課程へのきっかけと経験

山本裕太 名古屋工業大学 物理工学専攻 博士後期課程 3年



博士課程を志望したきっかけ

研究面： 装置の開発 →自分で課題を見つけて解決する楽しさ。
今まで不可能だったことへの挑戦
→ 自分のアイデアで可能性を広げる楽しさ。

留学： ドイツへの共同研究での留学
→ 海外での博士研究者の活躍。

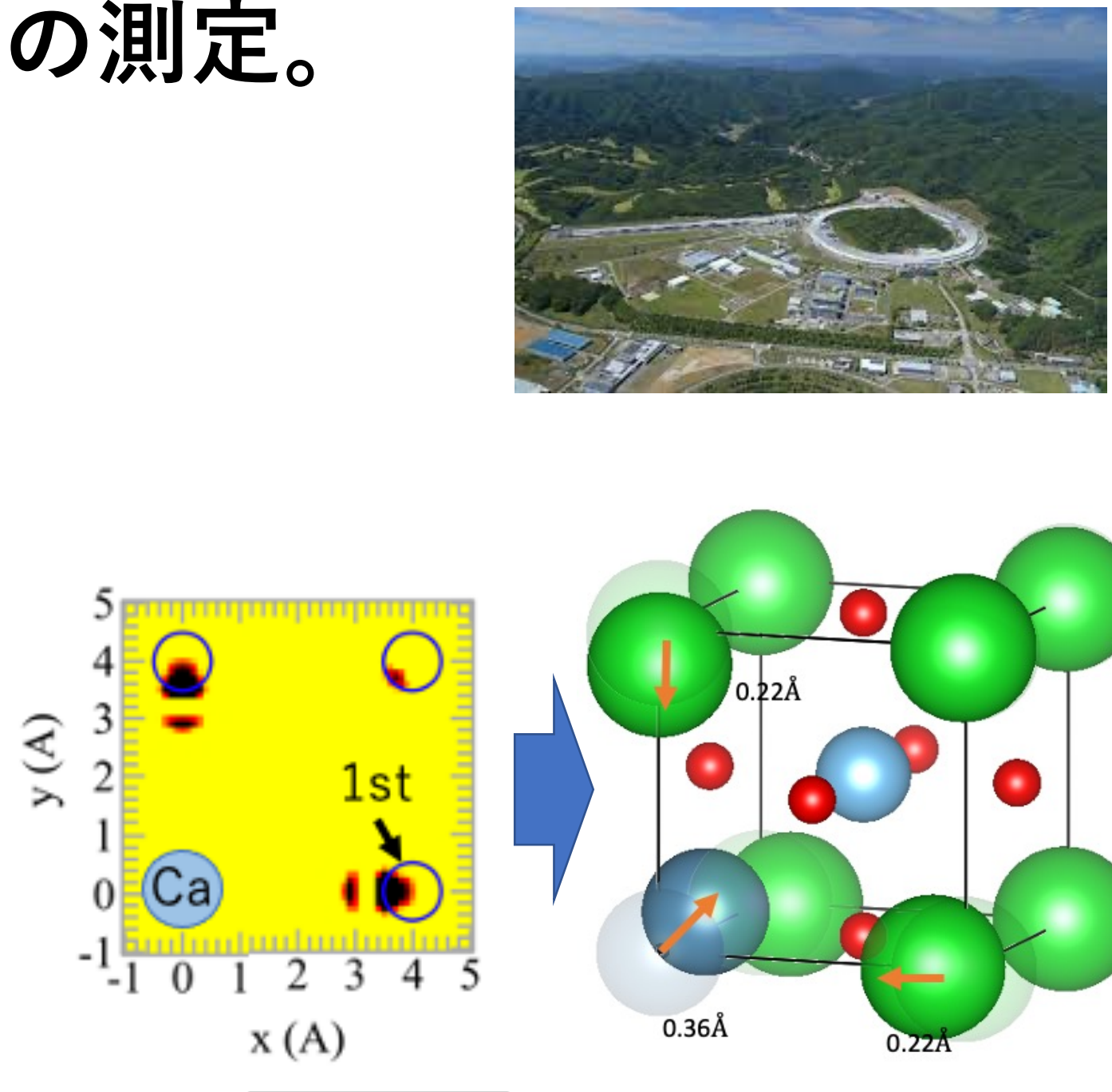
先生からの勧め：
研究者として周りから認められる資格として。

もっと研究して
新しいことに
挑戦したい！

私の研究

放射光施設を用いた材料の局所構造の測定。

- ・得られたデータの解析。
- ・構造のモデルの構築と検証。
- ・測定装置の改良、測定環境の構築。

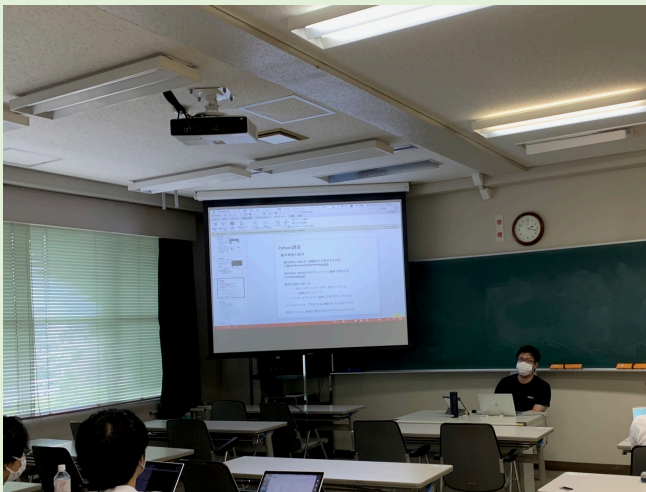


従来では測定できない構造を測定してより高性能な材料の開発や新機能材料の開発に向けて。

博士課程での経験

研究、スキルアップ

自分の裁量でできる事が増える。
(実験手順の考案など)



後輩の指導する機会がより増える。
(勉強会を企画することも)

論文を書くことにより英語能力の向上。

学会発表や外部の先生との議論の回数が増える
ことによりプレゼン能力の向上。

じっくり時間をかけて自分のスキルを向上。

共同研究、海外留学

海外に派遣できる機会が格段に増える。
(海外の放射光施設、国際会議、共同研究先など)

FAUとのコチューテルプログラム

FAUの先生と学生を含めた、議論の場
-> 英語での議論する能力



自分の分野とは異なる分野の研究に参加
(私の場合は試料の作成、特性測定)



企業ではできない貴重な経験がたくさん

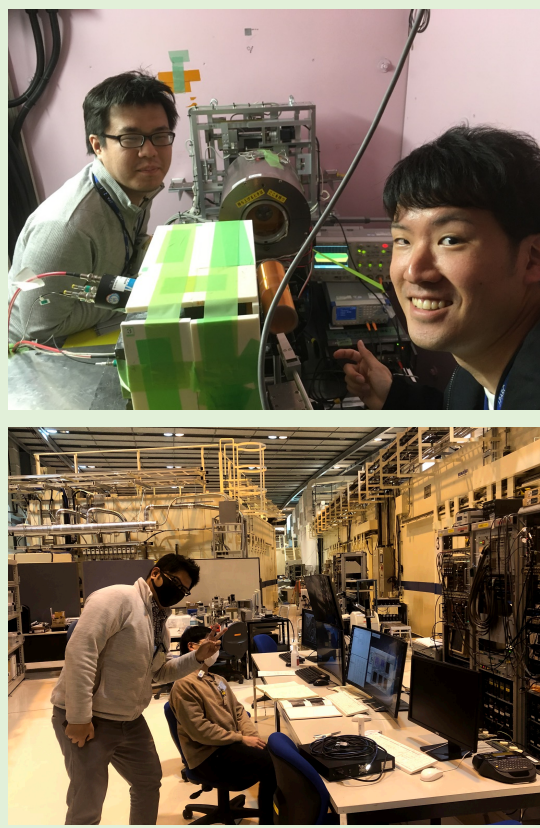
普段の生活

JGGEでGRAに雇用されたため、
自分のために使える時間が増え、
研究に集中できるように。

日本奨学金機構の奨学金を含めて
生活に必要な金額を賄える。

外部での実験

たくさんの実験に
参加する機会、
最先端の技術や材
料に触れられる。



私からのメッセージ

今、研究をしていて、将来も自分のやっていることを追求したい、続けていきたいと思ったら、この道に行くのも一つの選択肢だと思います。